議　事　録

件　　名		第 33 回（令和 7 年度第 2 回）セーフコミュニティ防災対策委員会
日　　時		令和 7 年 10 月 17 日（金）10:00～11:00
場　　所		久留米市役所本庁舎　3 階 301 会議室
出席者	委　員	中園委員長、矢野副委員長、森委員、漆原委員、吉野委員、新留委員 下津浦委員、佐野委員
	事務局	（防災対策課）中山補佐、井上主事、倉八主事 （地域福祉課）松石補佐、塩見主査 （安全安心推進課）山下主幹、田中主事
欠　席　者		肥山委員
傍　聴　者		なし
次　　第		１．開会 ２．協議事項 （１）次期国際認証に対するアンケート結果について （２）みんなでセーフコミュニティ賞について ３．その他 （１）令和 7 年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案） ４．閉会
質　　疑		**<u>１．開会</u>** ・事務局より開会 ・傍聴者の確認「なし」 委員長選出により、中園委員を委員長として選出。 副委員長選出により、矢野委員を副委員長として選出。 **<u>２．協議事項</u>** **<u>（１）次期国際認証に対するアンケート結果について</u>**
委　員　長		国際認証を受けるメリットを教えていただきたいです。
事　務　局		セーフコミュニティの取り組みを始めた理由と重なりますが、取り組みを始めた、平成 23 年は、暴力団等の活動が活発にあり、市民意識調査でも不安という声が多くありました。また、平成 17 年に広域合併を行いましたので、市民一体となり活動するという名目でセーフコミュニティを開始しました。
委　員　①		認証までの手続きなどは大変でしょうか。
事　務　局		さいたま市の本審査をオンラインで見たところ､海外の審査員の方へ通訳を交えながら、プレゼン形式での説明を対策委員の方が行っておりました｡質疑応答などもありますので、準備にはそれなりの労力がかかると思います。

議　事　録

委　員　②	認証を行わない場合のビジョンはありますか。
事　務　局	認証を行わなかったとしても、これまでの取り組みをやめる予定はございません。引き続き取り組みを続けてまいります。しかし、どういった仕組みで続けていくかは現在検討中です。
委　員　③	今後、全国的に認証を受ける風潮は拡大していくのでしょうか。また、認証を受けている自治体の現状数を教えていただきたいです。
事　務　局	認証を受けている自治体は、全国で 17 自治体あり、その中で辞退した自治体が 6 自治体、現状では 11 自治体が認証を受けております。九州では、久留米市、鹿児島市が認証を受けております。そのため、広まっていく現状ではないと思います。セーフコミュニティ自体の認知度があまり高くないことも原因であると思いますので、周知を進めてまいります。
委　員　長	国際認証やセーフコミュニティは取り組みとして必要なものであると思います。
	（２）みんなでセーフコミュニティ賞について
委　員　①	事務局の説明に補足いたします。今回推薦いたしました 2 団体について、他校区でも防災に関する取り組みを行っていると思いますが、令和 5 年の土砂災害を経て、特に取り組みを深めている校区、団体として、推薦させていただきました。
委　員　長	竹野校区まちづくり振興会と特定非営利活動法人 YNF のみんなでセーフコミュニティ賞認定に賛成の方は挙手をお願いいたします。 （賛成８名、反対０名により可決。）
事　務　局	今回受賞しました 2 団体については 12 月 20 日（土）本庁舎 2 階くるみホールにて表彰式を行います。
	３．その他 （１）令和 7 年度セーフコミュニティ会議等スケジュール（案）
委　員　④	避難行動要支援者名簿について、地域福祉課に依頼を受けて、住民への登録を民生委員中心に進めてきましたが、登録をする方が少なくなってきていると感じます。この名簿を活用するにあたり、より登録を促進するべきと考えます。

	また、広報チラシの最後に『確実な安全を保障するものではない』と書かれており、これも登録数が減少している要因なのではないかと考えます。
委　　員　　②	図上訓練などを通して、必要性を実感していただき、登録していただきたく思います。また、登録者が減少していることにつきましては、亡くなられている方など、さまざまな要因があると思いますので、民生委員の方々とも協力しながら周知していきたいと思います。 『確実な安全を保障するものではない』という文言については、登録者のすべてを民生委員、行政が助けると記載しますと、避難行動自体に影響が出ますので、自分の命は自分で守ることを前提に、支援の必要な方への支援を進めてまいりたいと思います。しかし、文言そのものについては、まだ検討の余地があると思いますので、これから取り組んでまいります。
委　　員　　長	ご高齢の方でも元気な方が増えており、これも要支援者名簿の登録が減少している要因だと考えます。
副　委　員　長	実際に、図上訓練を行ったときに、道路が冠水している、通行止めになっているなど、様々な想定をすると助けることができない可能性もあると感じました。この文言については、記載するべきだと考えます。
委　　員　　長	名簿を年に１回更新しているが、減少傾向にあるので、登録を促進と言い難い状況にあると思います。
委　　員　　②	名簿への登録が目的ではなく、避難行動につなげることが目的ですので、このことをより周知していきたいと思います。
	<u>４．閉会</u>